

【競技上の確認事項】

大会競技委員長

1 競技規則

本大会は、2025年度(公財)日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。
但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を用いる。

2 競技方法

- (1) 九州各県代表 男子・混合・女子 各16チームを4グループに分け、
1日目は各グループ4チームによる予選グループ戦を行って各グループ1位・2位・3位・4位を決定する。(補助役員については相互審判とする、主・副レフェリーは派遣審判員にて行う)
2日目は、予選1位・2位の決勝トーナメントと予選3位・4位の3・4位トーナメント戦を行う。
各トーナメント戦の3位決定戦は行わない。
決勝トーナメントについては 補助役員は福岡県チームにて担当します。
3位・4位トーナメントについては 補助役員は参加チームにて担当をお願いします。
- (2) 試合は、予選グループ戦、決勝及び3・4位トーナメント戦ともに追い込み形式で行う。
但し、決勝トーナメントの決勝戦は全カテゴリー同時スタートとする。
- (3) 試合が終わったチームは速やかにベンチを空けること。また、次のチームは、競技委員の指示に従ってコートに入ること。
- (4) 予選グループ戦・決勝及び3・4位トーナメント戦の開始は、前試合終了時刻から概ね15分後にプロトコールに入るが、競技委員又は放送指示に従うこと。(連続試合の場合、試合間は15分間は確保)
- (5) 大会1日目順位決定は、各チーム2試合を実施し、2試合の結果にてJVA競技要項Ⅱ-4項(リーグ形式の順位決定方法)勝者2点・敗者1点・棄権又は没収0点にて計算する。2つ以上のチームが同点となった場合は、
セット率(全試合の取得したセット数/全試合の喪失したセット数)更に
ポイント率(全試合の総得点数/全試合総失点数) で順位を決定する。
ポイント率まで同順位がある場合はJVA競技規則に則り順位を決定する。
(2チームで、相互の試合有の場合は相互の試合の勝チームが上位、それ以外は抽選)

3 チームの構成

- (1) チーム構成は、監督・コーチ・マネージャー各1名と選手12名の計15名以内とする。
- (2) 監督・コーチ・マネージャーのうち1名は成人であり、日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4のいずれかの資格をもっている者でなければならない。また試合時にはそれらを証明する証明書等を胸にさげていなければならない。
- (3) 監督・コーチ・マネージャーは2チームを兼任することはできない。

4 服装について

- (1) 選手の背番号は、1～99番とするが、競技運営上1～12番が望ましい。
- (2) ユニフォームは、番号、チーム名、キャプテンマークがはっきり識別可能なものであること。
(県名については無くてもよい。 個人名その他が入っているものは認められない。)
- (3) ソックスは、長さ色が統一されていること。 また、ショートソックスは、くるぶしが常時かくれるものとする。
- (4) 監督・コーチ・マネージャーの服装は、チームで統一されたものであること。但し、Tシャツ・短パン・キュロットでのベンチ入りは認められない。(児童がマネージャーの場合は、この限りではない。)
*統一された服装とは、原則全て同じものという意味である。審判服での統一は認められない。
- (5) 監督・コーチ・マネージャー章は必ず左胸部に着用すること。着用のない者のベンチ入りは認められない。
- (6) 男女混合の部は、男女で違うユニフォームを着用し、番号が重ならないようにする。しかし、違うユニフォームを用意できない場合は、同一ユニフォームでも構わないが、男子・女子のいずれかが指定された識別用バンドを腕か足首に付けるかソックスの色で区別できるようにすること。

5 チームスタッフの変更

大会プログラム記載のチームスタッフ及び選手の変更（背番号の変更・誤字の訂正等を含む）に関しては、エントリー変更用紙に記入し、8月22日（金）監督会議終了後に提出し、承認を得ること。但し、（公財）日本バレーボール協会にMRS登録済みであることを前提とする。変更がない場合でも、チーム名を記入し「無」で提出すること。

6 大会使用球

（公財）日本バレーボール協会が公認する人工皮革4号球カラーボールとする。

男子：モルテンボール（V4M5000-L）

男女混合：モルテンボール（V4M5000-L）

女子：ミカサボール（V400W-L）

両方とも円周62～64cm、重量200～220g

7 各試合会場におけるコートでの練習

- (1) コート設営準備が終わるまでは、フロアに入ることはできない。
- (2) 割当練習については、大会日程表の通りとする。
- (3) 試合終了後のコートチェックが終わり次第、次の試合のチームのみコートでの練習ができる。ただし、隣のコートが試合中の場合は、ボールを使っの練習は2人組の両手を使っのパスのみとし、選手が奇数の場合は1人对2人を1組認める。（指導者はボールに触れてはいけない）。練習の開始・終了は競技・審判委員の指示に従うこと。
- (4) フロア以外の室内でのウォーミング・アップは禁止する。また、屋外でのウォーミング・アップの場合は上・下履きの区別をすること。

8 ベンチへの持ち込み物

- (1) ベンチには、飲料水・タオル・救急用具等の競技に必要な物以外の品物は持ち込まないこと。うちはタイムアウト・テクニカルタイムアウト時のみ使用可とする。
- (2) 飲料水については、スクイズボトルかワンタッチオープン式の水筒のみ持ち込みを許可する。選手もチームスタッフも共通である。
- (3) キャンプカートは使用禁止。
- (4) 荷物は、椅子の上や横に置かず、ベンチ裏や下、またはウォーミングアップエリアの壁側に置くこと。

9 横断幕（チームの応援旗）の掲示

- (1) 開会式での掲示は一切できない。
- (2) 試合会場では、試合該当チームが1枚のみ掲出し、試合終了後直ちに撤去すること。
- (3) サイズについては、特段規定はしないが、体育館の規定上掲出できない場合や試合運営に支障がある場合、大きさなどに問題がある場合は、大会本部の指示に従うこと。
- (4) ガムテープ等の粘着テープ等は使用せず、ロープ・養生テープを使用して手摺りに固定すること。
- (5) 応援用の「のぼり」を使用する時は、観戦の妨げにならないよう観客席の後方に固定すること。

10 応援について

- (1) サービス許可の吹笛の前に応援をやめること。
- (2) 応援で使用してよい物は、スティックバレーン、メガホン（全長が35cm以下）のみとし、施設をたたくなどの行為がないようにする。（楽器やペットボトルに詰め物をしての持ち込み禁止）